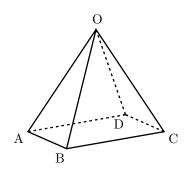
反射テスト 立体切断 正四角すい 01

1. 正四角すい O-ABCD を平面 PQRS で切断する. P,Q,R,S はそれぞれ辺 OA,OB,OC,OD 上の点である. 頂点 O から底面 ABCD に下ろした垂線の足を H とし, OH と切断面 PQRS との交点を T とする.

OP: PA = 1:5, OQ: QB = 1:2, R は C と一致する とき, 次の問に答えよ.

(S級1分, A級2分, B級3分, C級4分)

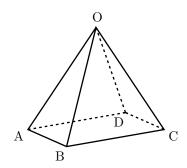


- (1) OS:SD を求めよ.
- (2) 切断後, O のある立体の体積は, 元の正四角すいの体積の何倍かを求めよ.

2. 正四角すい O-ABCD を平面 PQRS で切断する. P,Q,R,S はそれぞれ辺 OA,OB,OC,OD 上の点である. 頂点 O から底面 ABCD に下ろした垂線の足を H とし, OH と切断面 PQRS との交点を T とする.

OP: PA = 1:5, OQ: QB = 1:3, OR: RC = 1:2 とするとき, 次の問に答えよ.

(S級1分, A級2分, B級3分, C級4分)



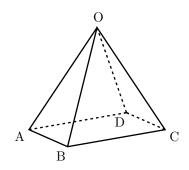
- (1) OS:SD を求めよ.
- (2) 切断後, O のある立体の体積は, 元の正四角すいの体積の何倍かを求めよ.

反射テスト 立体切断 正四角すい 01 解答解説

正四角すい O-ABCD を平面 PQRS で切断する.P,Q,R,S はそれぞれ辺 OA,OB,OC,OD 上の点である.頂点 O から底面 ABCD に下ろした垂線の足を Hとし, OHと切断面 PQRS との交点を Tとする.

OP: PA = 1:5, OQ: QB = 1:2, RはCと一致するとき, 次の問に答えよ.

(S級 1分, A級 2分, B級 3分, C級 4分)



- (1)OS:SD を求めよ.
- 切断後, O のある立体の体積は, 元の正四角すいの体積の何倍かを求めよ.

図 1

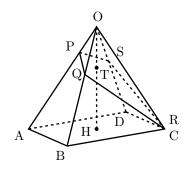


図 2

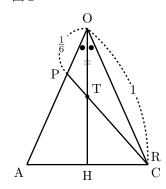
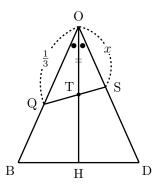
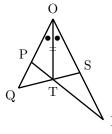


図3



★シーソーの定理

図 4



$$\frac{1}{OP} + \frac{1}{OR} = \frac{1}{OQ} + \frac{1}{OS}$$

OA = OB = OC = OD = 1 と考えて、

$$OP : PA = 1 : 5 \implies OP = \frac{1}{6}$$
, $OQ : QB = 1 : 2 \implies OQ = \frac{1}{3}$

R は C と一致 \Rightarrow OR = 1 , OS: SD を求めたい \Rightarrow OS = x とおく

★ 立体難問 ⇒ 投影図

面 OAC, 面 OBD をそれぞれ考える(図 2, 図 3).

左図4の ★ シーソーの定理(★調和平均の応用)から,

$$\frac{1}{\frac{1}{6}} + \frac{1}{1} = \frac{1}{\frac{1}{3}} + \frac{1}{x} \Leftrightarrow x = \frac{1}{4} \implies OS : SD = \frac{1}{4} : \left(1 - \frac{1}{4}\right) = 1 : 3$$

(2) ★三角すいの切断 を使うために、正四角すいを三角すい OABC と三角すい OACD に分けて考える.

四角すい OPQRS =
$$\frac{OP}{OA} \cdot \frac{OQ}{OB} \cdot \frac{OR}{OC} \cdot 三角$$
すい OABC + $\frac{OP}{OA} \cdot \frac{OR}{OC} \cdot \frac{OS}{OD} \cdot 三$ 角すい OACD

$$= \quad \frac{1}{6} \cdot \frac{1}{3} \cdot \frac{1}{1} \cdot \frac{1}{2}$$
 正四角すい OABCD +
$$\frac{1}{6} \cdot \frac{1}{1} \cdot \frac{1}{4} \cdot \frac{1}{2}$$
 正四角すい OABCD

$$=$$
 $\frac{1}{36}$ 正四角すい OABCD $+$ $\frac{1}{48}$ 正四角すい OABCD $=$ $\frac{7}{144}$

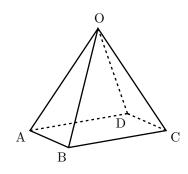
$$\frac{1}{48}$$
 正四角すい OABCD

$$= \frac{7}{144}$$

2. 正四角すい O-ABCD を平面 PQRS で切断する. P,Q,R,S はそれぞれ辺 OA,OB,OC,OD 上の点である. 頂点 O から底面 ABCD に下ろした垂線の足を H とし, OH と切断面 PQRS との交点を T とする.

OP: PA = 1:5, OQ: QB = 1:3, OR: RC = 1:2 とするとき, 次の問に答えよ.

(S級 1分, A級 2分, B級 3分, C級 4分)



(1) OS: SD を求めよ.

(2) 切断後, O のある立体の体積は, 元の正四角すいの体積の何倍かを求めよ.

図 1

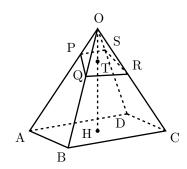


図 2

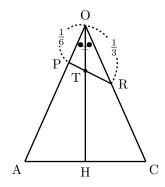
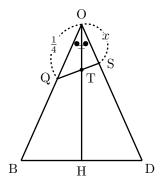
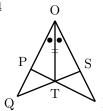


図 3



★シーソーの定理

図 4



$$\frac{1}{OP} + \frac{1}{OR} = \frac{1}{OO} + \frac{1}{OS}$$

OA = OB = OC = OD = 1 と考えて、

$$\operatorname{OP}:\operatorname{PA}=1:5$$
 \Rightarrow $\operatorname{OP}=\frac{1}{6}$, $\operatorname{OQ}:\operatorname{QB}=1:3$ \Rightarrow $\operatorname{OQ}=\frac{1}{4}$ $\operatorname{OR}:\operatorname{RC}=1:2$ \Rightarrow $\operatorname{OR}=\frac{1}{3}$, $\operatorname{OS}:\operatorname{SD}$ を求めたい \Rightarrow $\operatorname{OS}=x$ とおく

★ 立体難問 ⇒ 投影図

面 OAC, 面 OBD をそれぞれ考える(図 2, 図 3).

左図4の★シーソーの定理(★調和平均の応用)から,

$$\frac{1}{\frac{1}{6}} + \frac{1}{\frac{1}{3}} = \frac{1}{\frac{1}{4}} + \frac{1}{x} \Leftrightarrow x = \frac{1}{5} \Rightarrow \text{OS}: \text{SD} = \frac{1}{5}: \left(1 - \frac{1}{5}\right) = 1:4$$

(2) ★三角すいの切断 を使うために、正四角すいを三角すい OABC と三角すい OACD に分けて考える.

四角すい OPQRS =
$$\frac{OP}{OA} \cdot \frac{OQ}{OB} \cdot \frac{OR}{OC} \cdot \Xi$$
角すい OABC + $\frac{OP}{OA} \cdot \frac{OR}{OC} \cdot \frac{OS}{OD} \cdot \Xi$ 角すい OACD = $\frac{1}{6} \cdot \frac{1}{4} \cdot \frac{1}{3} \cdot \frac{1}{2}$ 正四角すい OABCD + $\frac{1}{6} \cdot \frac{1}{3} \cdot \frac{1}{5} \cdot \frac{1}{2}$ 正四角すい OABCD = $\frac{1}{80}$ 正四角すい OABCD = $\frac{1}{80}$